

大阪はびきの医療センター
建設基本設計業務委託
公募型プロポーザル

技術提案概要

信頼の医療拠点＋潤い溢れる 「はびきのブランド」を創出

3つのコンセプト：



「政策医療」と「一般医療」が
両輪の医療拠点づくり

感染・結核医療や小児・周産期医療などの「政策医療」の役割強化と「一般医療」の機能向上を両立する地域の医療拠点を実現します。



府民の命と健康を守る
「安心のセーフティネット」

急性期から長期療養まで、幅広い患者の受入れに対応する柔軟な施設計画により、将来にわたり患者本位の医療を提供できる施設とします。



豊かな緑と水を活かした
「潤いある癒やしの環境創出」

緑と水の豊かな敷地を活かして、患者、スタッフ、地域など全ての人にとって、潤いを感じる癒やしの環境を創出します。



潤い溢れる環境を最大限に活かしながら地域に信頼される
「はびきのブランド」を創出する新病院のイメージ

感染症外来棟

救急入口

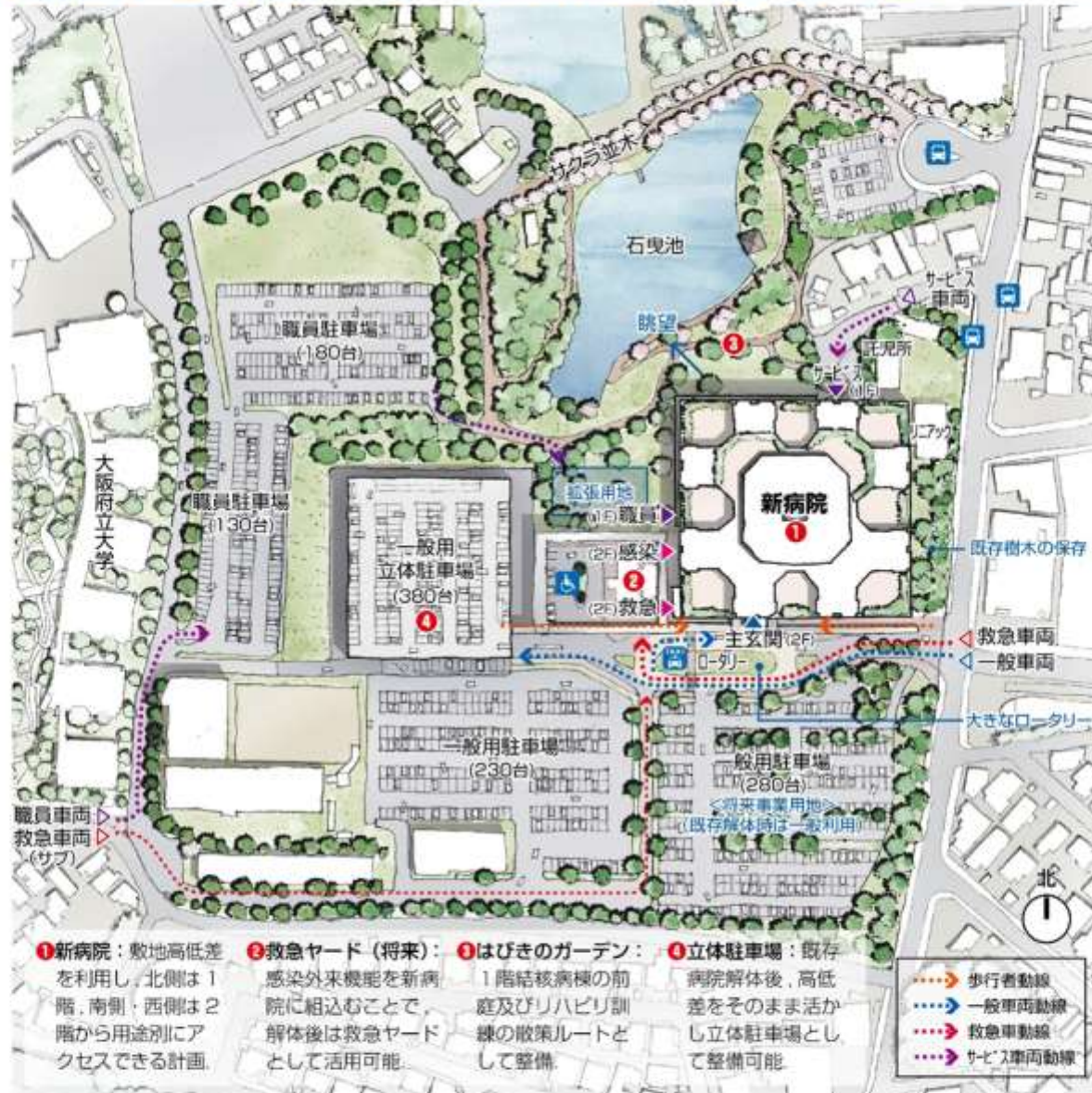
メインエントランス
及び大きなロータリー

パンデミック対応
非常用出入口



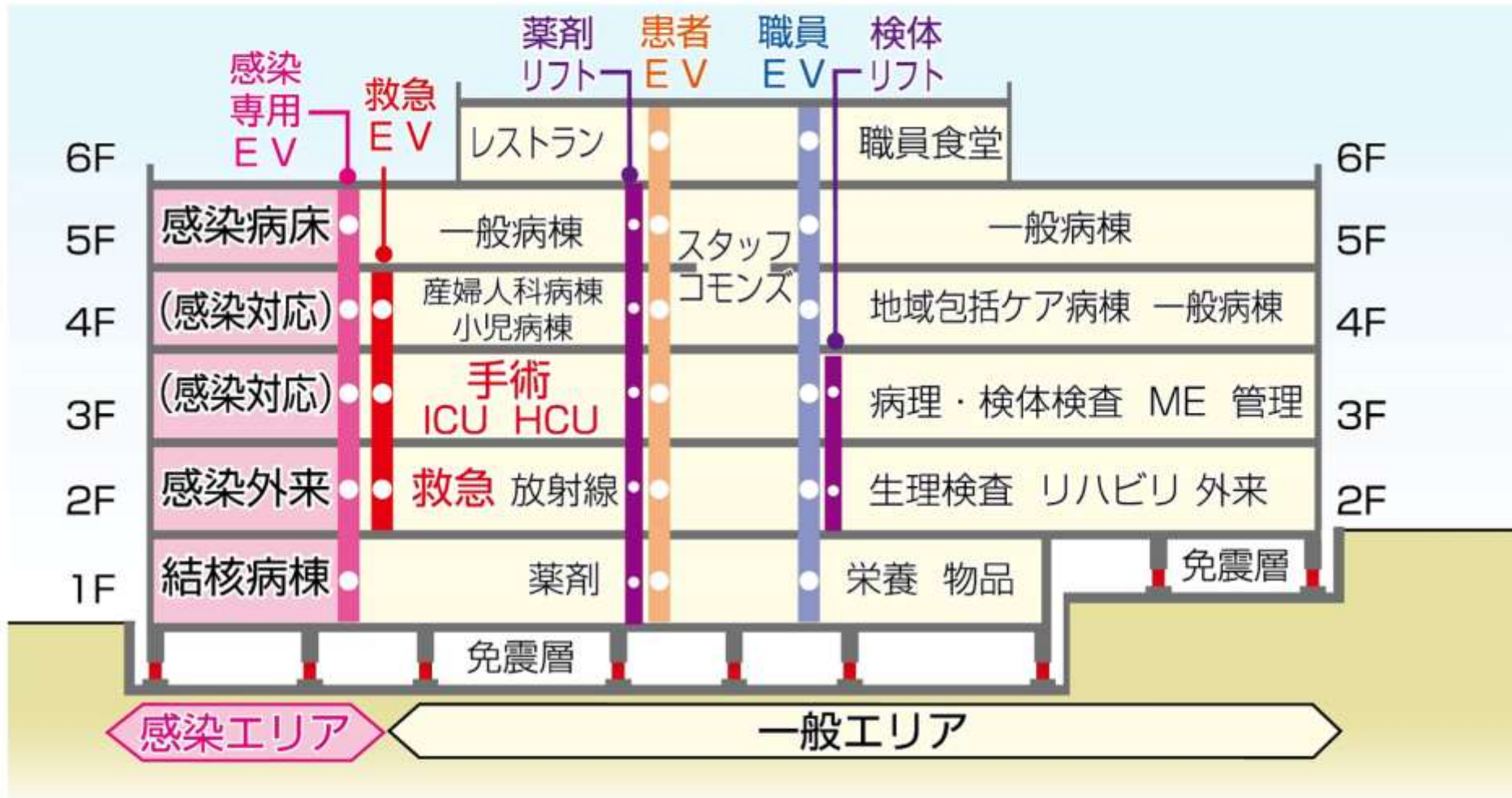
感染や救急などの入口を明快に分けた新病院の正面イメージ

敷地の段差を活かして明快に分けたアプローチ



石曳池と豊かな緑を取り込み地域と調和する新病院の配置イメージ

感染エリアと一般エリアを「完全分離」する建物構成



感染エリアと一般エリアを完全分離する階層構成

動線分離と機能連携を両立 「感染独立化+ワンフロア外来+4看護病棟」





1階：結核病棟＋供給フロア



2階：ワンフロア外来



3階：手術・ICU・HCU + 管理フロア



4階：4看護病棟＋分娩・NICU



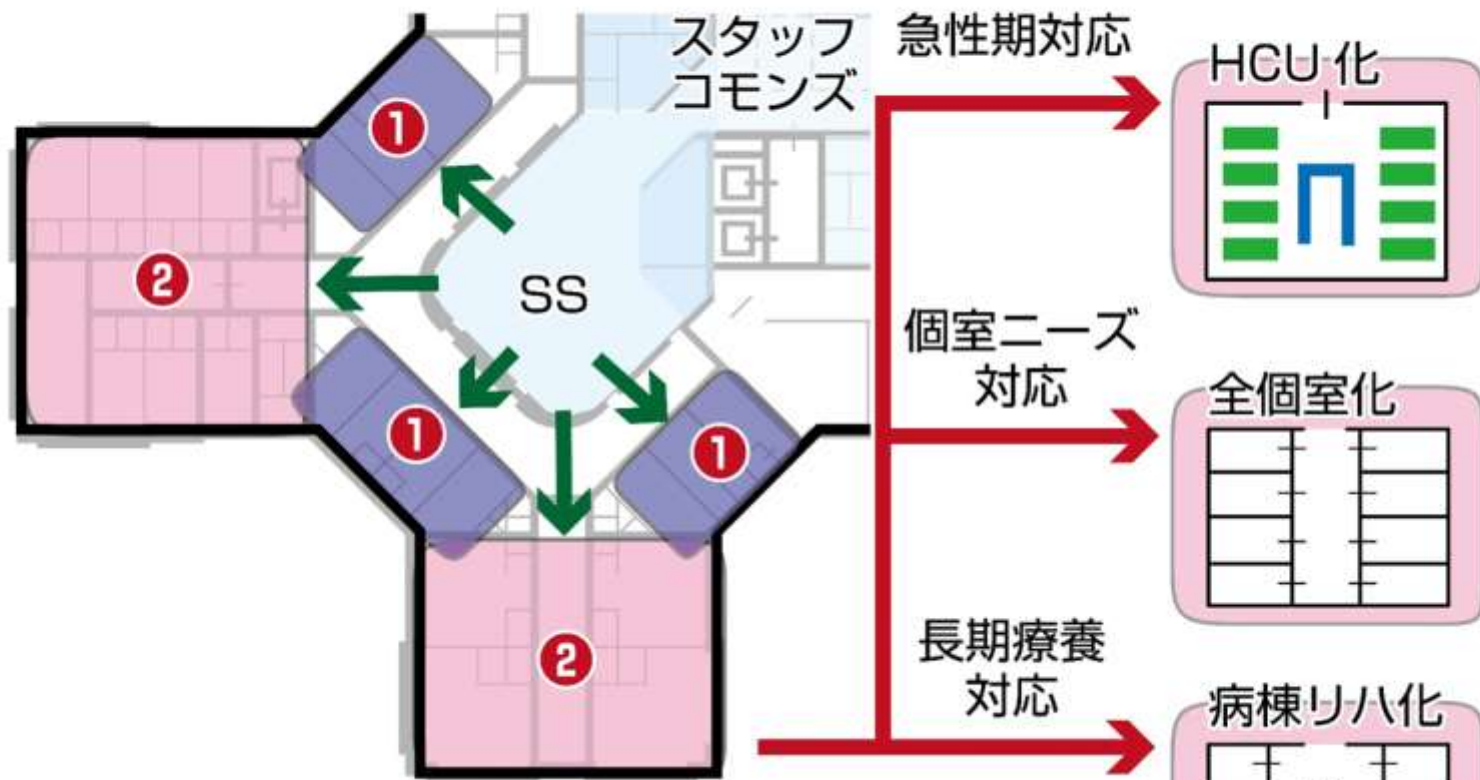
5階：4看護病棟＋感染病床



6階：レストラン+機械室



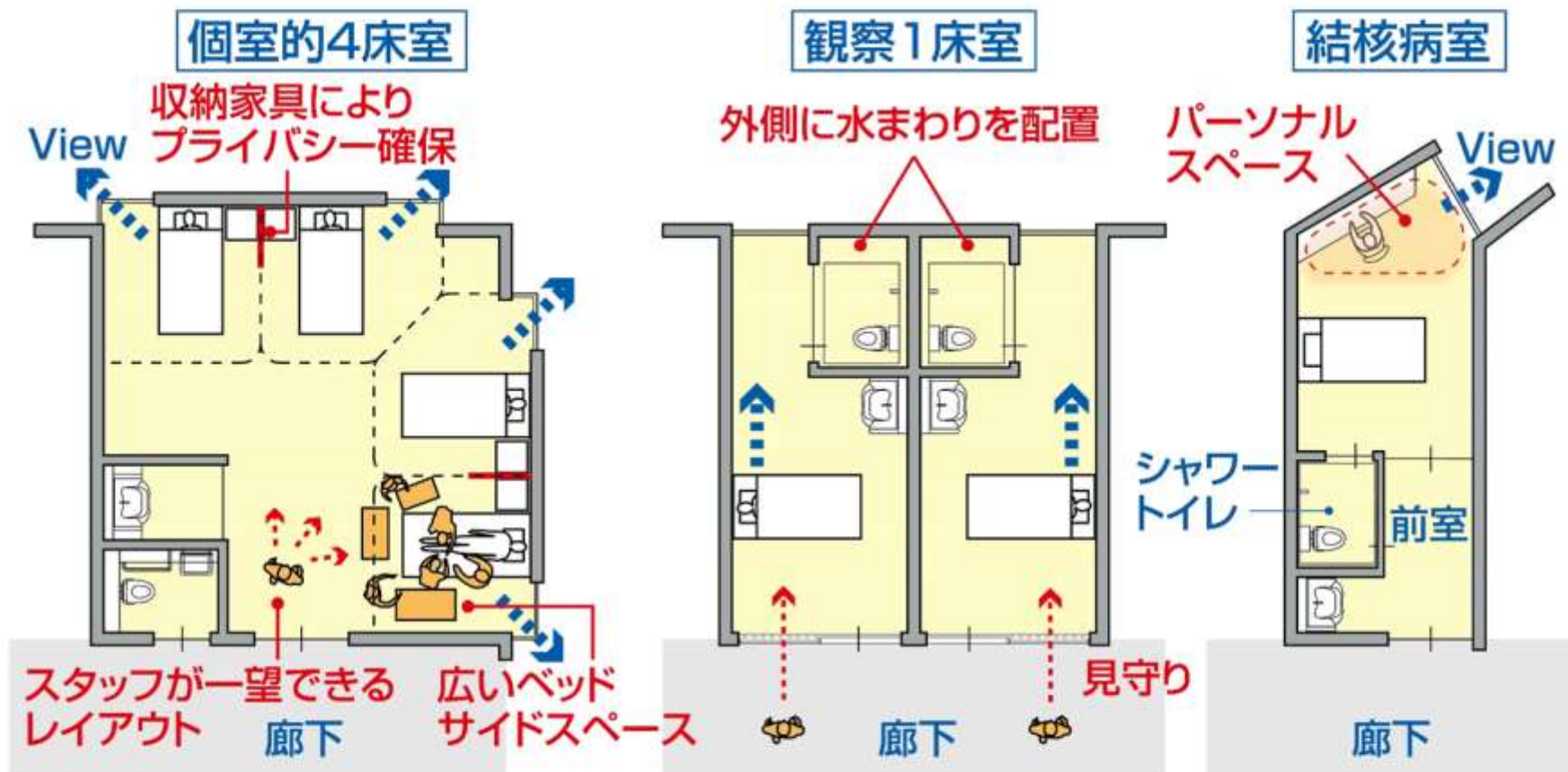
8 看護単位が連携するスタッフ commons のイメージ



- ① 観察ユニット： 観察窓から何時
 も見守り可能
- ② マルチユニット： 柱がなく自由にレ
 イアウトが可能

2つの病室ユニットとマルチユニットのレイアウト例

早期離床・早期退院を促し自然治癒力を高める 優れた療養環境



ベッド廻りの環境と看護のしやすさを重視する病室計画



石曳池を望む結核病室のイメージ

水と緑の潤いを最大限にとりこむ「はびきのテラス」



石叟池側から見た新病院のイメージ